

不登校の原因、対応
USN



初心
酒井 信幸

問 小・中学生の不登校について主要因等はどのようなものとなっているのか。

教育長 1つ目は、友人関係をめぐる問題や学業不振、入学・進学時の不適應等の学校生活に起因すること。2つ目は、親子関係をめぐる問題や家庭生活環境の急激な変化等の家庭生活に起因すること。3つ目は、病気による欠席等の本人の心身の状況変化に起因することです。

問 そのことについてどのような対応・対策をとっているのか。

教育長 大きな対応の1つに相談事業の充実があります。1つは、中学校における「スクールカウンセラー」、小学校における「子どもと親の相談員」を8つの学校にすべて配置しています。2つ目は、生涯学習課が中心となり、「青少年室」を設け、電話相談あるいは来客相談を行っています。その他、教育委員会の連携のもとで、専門的な機関との相談もしています。

まちづくりの市民参画
推進USN



ピアネット
いわぬま
大友 克寿

問 「さわやか市政推進員」、「市民情報交流会（市民ラウンドテーブル）」等への若い世代の参画は大変少ないが、それに対する取り組みはあるか。

総務部長 行政からの働きかけが大切だと思います。例えば、懇談会とか勉強会などに参加した人の協力を得ながら、地域の中で若い世代に声がけしていただきながら、参加いただくようなことに心がけていますが、今後ともそういうことで対応していきたいと思っています。

問 若い世代を対象にした公開講座や懇談会等、まちづくりに関心を高める機会を企画してはどうか。

市長 若い世代がどのようなことに興味とか関心を持ってもらえるのかとか、あるいは、参加の仕方について何らかの工夫がないのか、希望がないのかといったようなことを調査をさせていただいて、その結果を踏まえて、より具体的な取組みを検討してみたいと思います。

問 携帯メールを利用し、市政

副市長の交代USN



維新
梶谷 洋夫

に関する情報を提供する仕組みづくりを進めてはどうか。

市長 今の段階としては、広報誌あるいはインターネットでのホームページということ、これらをまず充実させたい。当然、その次の段階としては、携帯電話等を活用するという格好に移行するものと思っています。

問 行財政改革を進めている中で、副市長2名制は廃止すべきではないか。

市長 副市長2名制を廃止するということは考えていません。当然のことながら任期が到来した場合とか、改めてその時点で長が判断し、議会に提案し、その中で見直しするか、あるいは引き継ぐかということについては判断されるものと思っています。

問 当市のように平成合併もしていない5万都市以下の自治体で副市長2名制をとっているところはあるのか。

市長 5万人以下の都市では極めて少ないというところは、ご指

地方再生対策について



市民参画の会
布田 一民

摘のとおりです。例えば、福祉や市民参画のまちづくりとして評価が高い愛知県高浜市は、人口4万1,000人、面積も非常に狭いわけですが、2名制をとっているところもあります。

問 市長は「年間数十万報酬を増額することで副市長2名制でできる」と言うことはどういうことか。年間の報酬は高額なものではないか。

市長 収入役にかえて副市長を置いたということですので、18年度の副市長と収入役の報酬を比較しますと、給料、手当の差額分である約140万円が年間における負担増となります。

問 新総合計画によるまちづくりの実現をすることにより地方再生ができるかと考えるか。

市長 市としては、再生という言葉で、「よりよくなる」という意味にとらえたいと考えています。その意味では、新総合計画の理念である「参画と連携によって協働のまちづくり」を進めることで、市政の充実・発展

につながるかと考えています。

問 国から地方への財源移譲を意味するものでないことは不満であるが、地方再生対策費の使い方をもとに考えているか。

市長 他の地方交付税同様、基本的には一般財源として予算化をしていきたいと考えています。地方再生戦略の根本理念にかなった使い道を考え、市としては、トータルとして使わせていただくということです。

問 地方再生による新しい社会モデルづくりに提案するが、若者たちが社会で活躍できる地域づくりを考えたい施策を考えてはどうか。

市長 地域づくり、地域課題の解決に当たっては、若者の皆さんの活躍が不可欠であり、できるだけ若い人を加えて活躍できる場を提供することも非常に重要だと思っています。多くの皆様方に知恵と力をおかりして、十分参画できるような方策は考えていきたいと思っています。

仮設焼却施設USN



維新
渡辺 真多

問 岩沼市に建設予定のごみ焼